

～住まい・暮らし・しごと～ 移住・定住を支援します

市では、移住を希望している人やリターンで市内に戻ってきたい人などに、市内でのお試し暮らしなどを通じ、その後の移住・定住につなげられるよう、様々な支援事業を行っています。

移住体験

◎お試し移住

市営住宅の空き室や民間宿泊施設を活用した「お試し移住」を実施しています。令和4年度は22組27人の利用があり、うち1組4人が本市に移住しています。

【制度概要】

制度名	お試し移住補助金		お試し暮らし住宅	
滞在場所	市内宿泊施設 (民宿、ホテル、旅館など)		災害公営住宅 (南町、唐桑大沢)	
対象者	市外在住者			
滞在期間	3泊4日～13泊14日(2週間)		14泊15日～59泊60日(2カ月)	
補助・利用料金	素泊まり・レンタカー代上限 合わせて6,500円/日の補助		家賃15,000～30,000円/月 (水道光熱費含む)	
令和4年度中の利用者数	16組20人		6組7人	

◎ふるさとワーキングホリデー

●「ふるさとワーキングホリデー」とは？

都市部に住む働く世代の人達が一定期間地方に滞在し、働きながら地域住民との交流や学びの場などを通じて地域の暮らしを体感できる制度です。

令和4年度は市内16企業が受け入れ先となり、20代の若い人達を中心に103人が利用しました。



住まいの確保

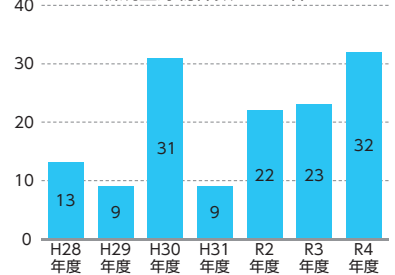
◎空き家バンク

「空き家バンク」とは、空き家を「売りたい・貸したい」方と「買いたい・借りたい」方をマッチングさせる空き家情報登録制度です。市外からの移住・定住者の促進、さらには、企業の従業員確保対策にも活用いただき、地域の活性化を図るものです。

令和4年度の新規登録件数は過去7年間で最も多い32件でした。

空き家バンク登録状況

新規登録物件数：139件



◎空き家改修支援事業補助金

市では、「空き家バンク」に登録している物件に対し、改修、修繕、家財などの処分に要した費用の一部を補助しています。令和4年度は8件の申請があり、総額351万円を交付しました。

【補助対象経費】トイレの水洗化・洋式化、ユニットバスの設置、壁紙の張替え、畳の取替え、建具の交換や空き家に残っている不要な家財などの処分費用(収集・運搬、処分・リサイクル費用)など

【補助金額】補助対象経費の1/2以内(上限50万円)

※補助金の申請には事前の相談が必要です。詳しくは震災復興・企画課 けせんぬま創生戦略室(☎22-3408)にお問い合わせください。

地域課題解決

◎地域おこし協力隊

●「地域おこし協力隊」とは？

都市地域から過疎地域などに生活の拠点を移した人を、市が「地域おこし協力隊員」として委嘱し、一定期間、地域に居住して、地域ブランドや地場産品の開発・販売・PRなどの地域おこしの支援や、農林水産業への従事、住民の生活支援などの地域協力活動を行いながら、地域への定住・定着を図る制度です。

令和4年度は新たに4人の方が地域おこし協力隊に就任しました。

市ではこれまで29人の隊員を委嘱し、うち任期満了などで退任した隊員19人の中で、10人が退任後も起業や就労し、本市に定住しています。

